

# 会話を重視し、発話量の多い授業を目指して

## ～疑問詞を使った会話の充実～

大仙市立南外小学校 教諭 梅川 徹

### 1. はじめに

この実践例は、英語授業改善事業の拠点校に指定されていた美郷町立仙南小学校で、令和2年度に行った授業をもとにしている。

外国語科の授業には、専科の教師（梅川）に加え、ALTもしくは英語学習支援員（高橋かがり先生）が入り、常に2人体制で授業を行っていた。2人体制なので、その時間のゴールもデモンストレーションで示すことができる。ゴールをデモンストレーションで示すことで、具体的にイメージさせたり見通しを持たせたりすることができるだけでなく、説明を省くことができ、オールイングリッシュの授業が成立しやすくなる。

### 2. 実践内容

#### (1) 単元について

取り扱った単元はNew Horizon Elementary 6のUnit 2 How is your school life?である。この単元は日常生活や宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。

時数	ねらい	学習活動/表現・言語例	教師の主な支援	評価
1	・世界の子どもたちが大切にしているものについて、誰のおおよまの画像を調べる ・世界の子どもたちが大切にしているものについて、誰のおおよまの画像を調べる ・世界の子どもたちが大切にしているものについて、誰のおおよまの画像を調べる	My treasure is ~. I like ~. I usually watch soccer games on Sundays. I usually walk my dog, play baseball, do my homework. My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・本週にしている学習の目標や、その達成についての話を聞く ・児童の発表に対して、興味を示すために、写真や動画にも目を向けるように誘導する。 ・世界の子どもたちが大切にしているものについて、自分たちの暮らしや文化について話せるように誘導する。	【他】 ・世界の子どもたちが大切にしているものについて、自分たちの暮らしや文化について話せるように誘導する。
2	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What do you usually do on Sundays? I usually watch soccer games on Sundays. Clean my room, walk my dog, play baseball, do my homework. My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問や質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする
3	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What is your treasure? My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする
4	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What is your treasure? My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする
5	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What is your treasure? My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする
6	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What is your treasure? My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする
7	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What is your treasure? My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする
8	・自分の宝物について伝え合ったり話したりする構成になっているが、実践するにあたり、単元名をWhat is your treasure?とし、ゴールを宝物の紹介を中心としたやり取りに変更した。自分の宝物を扱うことで、児童は話したい内容を具体的に想像でき、意欲的に学習に取り組むことができると考えたからである。	What is your treasure? My treasure is ~. I like ~. I usually ~.	・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする	【他】 ・自分の宝物や趣味に関する質問の返答をする

#### 単元の構想 (総時数8時間)

時数	学習活動	教師の支援	評価
1	1. Greeting		
2	2. Clean		
3	3. Small Talk		
4	4. Today's Goal		
5	5. Activity 1		
6	6. Activity 2		
7	7. Reflection		
8	8. Greeting		

#### 学習指導案

#### (2) 指導について

本単元だけでなく、各時間の導入で教師がデモンストレーション形式でゴールを示す。そして児童にその時間のゴールは何か考えさせた。

本単元は、第1時から第4時までは、自分の宝物について伝える内容を増やしなが、ペアで伝え合うこととした。宝物について、好きなことやできること、普段どんなことをしているか、して

みたいことについて、伝える内容を増やしながら伝え合わせた。ペアでの活動では、話す内容が定着するように、片側の列をローテーションさせることで、違う相手と宝物の紹介ができるようにしている。第5時から、発表を聞いて疑問に思ったことを尋ね合う形を取り入れた。そして第6時では宝物について質問を重ねて、宝物に対する心情や背景について深く掘り下げていくこととした。そうすることで、宝物について情報を聞き出す質問の仕方や、くわしく伝えるための話題の選び方について考える必要感が生まれるはずである。さらに、相手の生活の様子に対する理解が深まることも期待できる。

宝物の説明に使いそうな既習の表現は、各時間のアイスブレイキングやSmall Talkで用いて復習できるようにした。

また、教科書の巻末コミュニケーションカードに4線を加えたワークシート（図1）を作成して、宝物について伝え合ったり、やり取りしたりする際の手掛かりにできるようにした。

第6時では、それまでにペアを組んだ人とグループにならずに新鮮な気持ちで会話できるように列を入れ替えた。さらに、テンポよく会話が進むように、時間を区切ったり、一人2回質問するようにしたりした。疑問詞に自信がない児童が参考にできるように、疑問詞を黒板に掲示していつでも見られるようにした。



図1

(3) 指導の実際

各時間のゴールの姿を理解させ、学習の見通しをもたせるために、次のようなデモンストレーションを演示した。主要な英文のみ示しているが、That's nice.やSounds good.といったリアクションを必ず言うようにしている。

第1時	T2: Hello. What is your treasure? T1: My treasure is my bicycle. I like cycling.
第2時	I can go to Jumonji, Kakunodate, and Saimyoji.
第3時	I sometimes go cycling on Saturdays and Sundays.
第4時	I want to go to Shimanami-Kaido. Thank you.
第5時	T2: What is Shimanami-Kaido? T1: It's the famous cycling road. T2: Where is the Shimanami-Kaido? T1: Between Hiroshima and Ehime.



第6時は以下のようなデモンストレーションを行った

第6時	T2: Hello. What is your treasure? T1: My treasure is my bicycle. Thank you.
	ここでいったんデモンストレーションを終了。すぐ終わったことに驚く児童もいたが、どうしたら良いか尋ねると、質問をしたら良いという意見が出された。

	T2: I have questions. How much?
	T1: It's 150,000 yen.
	T2: Where do you go?
	T1: I go to Jumonji, Kakunodate, and Saimyoji.
	T2: When do you go?
	T1: Spring and fall.

第6時は、疑問詞を使った会話が中心となるのだが、このことは児童に予告しなかった。発表の形式に慣れてきた児童らは、自分の宝物の紹介にある程度の自信をもち、それまでの延長のような学習をしようと思っていたはずである。しかし、デモンストレーションを見て質問したり答えたりすると理解したところから、言語活動を成立させるためにどんな質問をしたらよいか、どう答えたらよいか考え始めたはずである。

以上のような仕掛けをして授業を進めると、次のように会話が進んだグループがあった。

C2 : Hello. What is your treasure?
C1 : My treasure is comic book.
C3 : How many do you have?
C1 : 21.
C4 : What's your No.1?
C1 : Kimetsu no Yaiba.
C3 : Why?
C1 : It's cool and fun.
C2 : When do you get?
C1 : Christmas. Christmas present.

C6 : Hello. What is your treasure?
C5 : My treasure is my personal computer.
C7 : What color?
C5 : It's black.
C8 : When do you play?
C5 : It's Sunday.
C6 : Best YouTuber?
C5 : Fishers.
C7 : Oh, Fishers. Why?
C5 : It's fun.

### 3. おわりに

外国語の指導においては、児童の使える英語が少ない中で、いかにして自分の意見を伝えるようにするかという工夫が大切である。今回の実践では宝物が題材だったことで、児童はどうやって自分の宝物について伝えるか意欲的に考えていた。外国語の授業では、児童にとって思いのある題材を選ぶことが、発話量を増やすために重要であると感じた。

話す英文をあらかじめ書いておくと、児童は話す内容が明確になり、自信をもって発話することができる。しかし、書いた英文を「読む」ことに意識が向き、「会話」にならないことも多い。本稿に記載した第6時では、疑問文はWhy?のように1語で尋ねることも許容し、ハードルを低く設定した。あえて児童に予告しない仕掛けをしたことで、聞いた内容について問答し合う即興性のある会話につなげることができた。

オールイングリッシュの授業を成立させる上でネックになることが、活動の内容やルールの説明ではないだろうか。私自身、英語であれこれ説明しようとしてもうまく伝わらず、結局やって見せたほうが早かったということは多々あった。説明しようとする、もどかしくて日本語に頼りたくなる。そんな時こそデモンストレーションを活用したい。始めのうちは説明がないことに戸惑う児童がいるかもしれないが、繰り返すうちに慣れて、オールイングリッシュに近づいていくはずである。

単元の構想

時間	ねらい	学習活動／表現・会話例	教師の主な支援	評価
1	・世界の子どもたちが大切にしているものについて、話のおおよその内容を理解することができる。	・登場人物が大切にしている物や、その理由についての話を聞いたり動画を見たりする。 My treasure is ～. I like～.	・大切にしている理由について理解させるために、写真や映像にも注意するように助言する。	・世界の子どもたちが大切にしているものについて、おおよその内容を理解している。 【知】
2	・世界の子どもたちの生活の様子について、おおよその内容を理解することができる。	・大切にしている物と生活の様子とを関連付けながら話を聞いたり、動画を見たりする。 My treasure is ～. I like～. I can～.	・世界の子どもたちの宝物には、生活に欠かせない物が含まれていることに気付くように、日本の生活と比べる。	・世界の子どもたちの生活の様子を知るために、自分たちの暮らしと比べながら内容を捉えようとしている。 【態】
3	・日常生活の日課について尋ね合うことができる。	・日常生活の日課について尋ね合う。 What do you usually do on Sundays? I usually watch soccer games on Sundays.  Clean my room, walk my dog, play baseball, do my homework  My treasure is ～. I like～. I can～. I usually～.	・日課や頻度を表す語句や表現の復習のために、We Can1で活用したフラッシュカードやチャンツを用意する。	・日課や頻度を表す語句や表現を理解している。 【知】 ・自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日常生活の日課について尋ね合っている。 【思】
4	・宝物は何か尋ね合うことができる。	・宝物は何か尋ねたり、絵を見せながら答えたりする。 What is your treasure? My treasure is ～. I like～. I can～. I usually～. I want to～.	・宝物が何か繰り返し尋ね合うことができるように、チャンツやゲームを活用する。	・宝物は何か尋ねたり答えたりする表現を身に付けている。 【知】
5	・自分の宝物について伝え合うことができる。	・ペアで自分の宝物について発表し、質問したり答えたりして伝え合う。 What is your treasure? My treasure is ～. I like～. I can～. I usually～. I want to～. What, Who, When, Where	・様々な質問に答えられるように、ペアで質問を考えるように助言する。	・簡単な語句や表現を用いて、宝物が何か伝え合っている。 【思】
6 (本時)	・自分や友達の宝物について、深く尋ね合うことができる。	・グループで自分の宝物について発表し、質問したり答えたりして伝え合う。 What is your treasure? My treasure is ～. I like～. What, Who, When, Where, Why,	・紹介する人は簡潔にするよう助言し、質問する人は既習の疑問詞を活用するよう助言する。	・宝物に対する心情や背景を伝えたり知ったりするために、簡単な語句や表現を用いて尋ねたり答えたりしている。 【思】
7	・世界の人々が何を大切にしているかを知り、生活の様子について理解を深めることができる。	・世界の人々が大切にしている物から、生活の様子の違いについて考える。  (先生チャレンジ)	・自分たちの生活に欠かせないものについて考えさせたり紹介させたりする。	・世界の生活に対する理解を深めるために、自分の生活に欠かせないものについて伝え合おうとしている。 【態】
8	・日本語と英語の主語のあつかいの違いについて理解を深めることができる。	・日本語と英語を比べたり、映像を見て外国の生活の様子について理解を深めたりする。 I'm home. I'm hungry. I can help you.	・日本語は主語がなくとも通じる場合があるが、英語には原則的に主語が必要なことに気付くような例を示す。	・外国の生活の様子を見て、世界と日本の言語や文化への理解を深めている。 【知】

本時の実際（本時6 / 8）

(1) ねらい

宝物に対する心情や背景を伝えたり知ったりするために、簡単な語句や表現を用いて尋ねたり答えたりしている。

【思考・判断・表現】

(2) 展開

時間	学習活動	教師の支援 評価	
		T1	T2
3分	1 Greeting	・意欲が高まるように明るい雰囲気や挨拶をしたり、曜日や日にちを確かめたりする。	・曜日や日にち、天気について確認する。
2分	2 Chant	・新鮮な気持ちで楽しく学習に向かえるように替え歌と一緒に歌う。	・学習の意欲が深まるように、テンポよく質問して替え歌を作る。
5分	3 Small Talk	・楽しい雰囲気や会話が成り立つように、リアクションをするように助言する。	・会話の流れがつながるようなリアクション例を確認する。
2分	4 Today's Goal 宝物について質問したり答えたりして、深く尋ね合おう。	・学習の見通しがもてるように、ゴールの姿を示すデモンストレーションをする。	・児童が自信をもって質問できるように既習の疑問詞を多用する。
8分	5 Activity1 4人グループで宝物について紹介し合う。(前半2人)  予想される児童のやり取り例  Pre. : Hello. My treasure is this baseball. I like baseball. C1 : What day do you play baseball? Pre. : I play baseball on Tuesdays, Thursdays, and Saturdays. C1 : I see. C2 : Which position do you play? Pre. : I play third base. C2 : Wow. Great. C3 : Why do you like baseball? Pre. : I'm good at hitting. It's exciting. C3 : That's nice.	・席を列ごと入れ替え、スムーズにメンバーが変わるようにする。 ・テンポよく活動できるように時間を設定して予告する。 ・疑問詞は一覧にしていつでも見られるようにしておく。 ・安心してやり取りできるようにグループ内で助言するように促すとともに、その内容をSharing Timeで発表するよう指示する。 ・自信をもってやり取りできるように、発表や質問、助言等について良さを見付けて称揚する。 ・活動に入り、主体的に質問しているか観察する。	・活動に入り、個別に発話を確認して支援する。 ・楽しい雰囲気ややり取りできるように、会話の前後の挨拶やリアクションについて助言する。 ・自信をもって活動できるように積極的に児童の良さを見付けて称揚する。
11分	6 Sharing Time 言いたくてもわからなかった部分やうまく伝えられた部分について質問し合い、語句や表現を共有する。	・良かった点を確認し、困ったことや疑問を解決するためにSharing Timeを設定する。 ・グループ内で解決できたことについても発表させ、全体のレベルアップを図る。	・良かった点を確認するために、手本となる児童を紹介する。
8分	7 Activity2 グループで宝物について紹介し合う。(後半2人)	宝物に対する心情や背景を伝えたり知ったりするために、簡単な語句や表現を用いて尋ねたり答えたりしているか。(行動観察・シート)	
5分	8 Reflection	・自分の学習の足跡を自覚させるために「何の理由を尋ねるためにWhyを使ったか。Whyにどんな答えを返したか。」などの観点を提示する。 ・お互いの学習を確かめるために、数人に振り返りを発表する場を設ける。	・達成感を感じられるように、本時での頑張りを紹介する。
1分	9 Greeting		